

菌根研究会 2022年度札幌大会（2次要項）

大会実行委員会 江沢辰広（北海道大学）

協賛 札幌農学同窓会

開催要領

日時： 2022年12月10日（土）

会場： 北海道大学農学部・大講堂

（正面玄関から階段を登って4F）

札幌市北区北9条西9丁目（札幌駅徒歩10分）

受付：9:00 -

口頭発表・特別講演・総会：9:30 - 17:00



- ・当日、37.5度以上の発熱、咳、咽頭痛等の症状がある方は、参加をお控え下さい。
- ・マスクを着用し、十分な距離を保って着席して下さい。
- ・懇親会は行いません。
- ・学内の食堂は閉店していますので、昼食は近隣の飲食店やコンビニをご利用下さい。
- ・飲み物の自販機は正面玄関下の地下食堂付近にあります。
- ・当日は積雪／路面凍結が予想されます。靴の滑り止め・防寒対策が必須です。
- ・要旨集はPDF形式のものを大会直前に全参加者宛、電子メールで配信します。

*発表者は各自のPCを利用して下さい。できる限りセッション前の空き時間に接続テストをお願いします。アダプターは各PCに適合したものをご用意下さい。スムーズな進行のため、次の発表者はステージ近くの座席での待機とPCの準備をお願いします。

プログラム

座長：菅井徹人

- 9:30 - 9:45 O1 Latisporum 系統グループの日本産セイヨウシヨウロ属菌の菌株と針葉樹苗を用いて合成した菌根苗における spore mat の形成に関する報告
小長谷啓介 (森林総研北海道)
- 9:45 - 10:00 O2 アジアクロセイヨウシヨウロの接種により形成されたクロマツ菌根の形態的特徴
服部恭太¹・北上雄大²・山中豪⁴・下野義人^{2,3}・松田陽介²(¹三重大生資・²三重大院生資・³大阪市立自然史博・⁴三重県林業研)
- 10:00 - 10:15 O3 アンズタケの単核および二核培養菌糸を用いた菌根形成能の比較

丸山博也¹・鈴木悠花²・山田明義^{1,2,3}(¹信州大院総合理工・²信州大農・³信州大山岳科学研)

- 10:15 - 10:30 O4 菌根菌が放射性セシウムの取り込みに与える影響：土壌鉱物からセシウムを溶出する能力の評価/重度地かきが苗木のセシウム取り込みを抑制する可能性
小河澄香・明間民央 (森林総研きのこ・森林微生物)

10:30 - 10:40 休憩

座長：松田陽介

- 10:40 - 10:55 O5 ネギの育苗段階におけるアーバスキュラー菌根菌の接種が3年間の圃場試験における収量に及ぼす影響

佐藤匠¹・佐藤孝²・斎藤雅典³・鈴木貴恵^{1,3}・福永亜矢子⁴・程為国¹・俵谷圭太郎¹(¹山形大学・²秋田県大・³東北大院農・⁴西日本農研)

- 10:55 - 11:10 O6 アーバスキュラー菌根菌分離株の超低温保存
大友 量 (農環研)

- 11:10 - 11:25 O7 アーバスキュラー菌根菌 *Redeckera* spp. の孢子果内孢子の遺伝構造
山田洋輝¹・前田太郎²・山本航平³・日下部亮太⁴・折原貴道⁵・大和政秀⁶(¹千葉大院教育・²慶應大先端生命・³栃木県博・⁴千葉大院園芸・⁵神奈川県博・⁶千葉大教育)

- 11:25 - 11:40 O8 単一の根片を用いたアーバスキュラー菌根菌の単離・菌株化
日下部亮太¹・大和政秀²(¹千葉大院園芸・²千葉大教育)

11:40 - 12:40 昼休み

座長：江沢辰広

- 12:40 - 13:20 S1 キュウリモザイクウイルスのYサテライトRNAの生き残り戦略
増田 税 (北海道大農)

座長：齋藤勝晴

- 13:30 - 13:45 O9 アーバスキュラー菌根菌で見つかったミトコンドリアウイルスの古代系統：全球分布と限定的宿主域が示唆する水平伝搬抑止機構

江沢辰広¹・Silvestri, A²・丸山隼人¹・俵谷圭太郎³・鈴木芽衣¹・Duan, Y¹・Turina, M⁴・Lanfranco, L²

- 13:45 - 14:00 O10 異なるアーバスキュラー菌根菌が接種されたミナトカモジグサにおける遺伝子共発現ネットワークの比較

菅井徹人^{1,2}・永山航平²・丸山隼人²・佐藤匠³・神山拓也⁴・熊石紀恵³・市橋泰
範³ (¹森林総研北海道・²北海道大院農・³理研 BRC・⁴宇都宮大農)

14:00 - 14:15 O11 ミナトカモジグサにおける菌根形成とリン可給化機構のトレードオフ
永山航平¹・熊石紀恵²・市橋泰範²・渡部敏裕¹・信濃卓郎¹・丸山隼人¹ (¹北大院
農・²理研 BRC)

14:20 - 15:20 総会

座長：江沢辰広

15:30 - 16:10 S2 冬眠に貢献する腸内細菌
園山 慶 (北海道大農)

座長：大和政秀

16:15 - 16:30 O12 Diversity and structure of arbuscular mycorrhizal fungi communities associated with artificial
Japanese cedar trees along a latitudinal gradient
Yustikasari, L¹・Kitagami, Y¹・Tanikawa, T²・Obase, K³・Chen, C⁴・Matsuda, Y¹ (¹Mie
Univ; ²Nagoya Univ; ³Forestry and Forest Products Research Inst; ⁴Taiwan Forestry
Research Inst)

16:30 - 16:45 O13 アーバスキュラー菌根菌の非共生的成長に対する不飽和脂肪酸の効果
小澤元輝・齋藤勝晴 (信州大農)

問合せ先

江沢辰広 (北海道大学大学院農学研究院)

tatsu@res.agr.hokudai.ac.jp

011-706-4147